

RIS 新入生のための用語集

Aeries (えありーず) : PVPUSD に在籍する学生の個人情報ページ。新学年が始まる前の registration (れじすとれーしょん／学生登録) は毎年この Aeries を通して行う。子供の時間割をはじめ各教科の成績と推移、出欠遅刻早退、missing assignment (みっしんぐあさいんめんと／未提出の宿題) とその内容&締め切り日、教科先生の連絡先、各種テストのスコアまで、学業関連のデータがすべてここに集約される。週に一度、指定した日時に子どもの最新データを送ってくれるメールサービスあり。<https://www.pvpusd.net> → [Parents & Students] → [Aeries Portal] → 登録メールアドレスとパスワードでログインして最初に現れるページの右上に表示されている自分のメールアドレスをクリック → [Parent Notification Preference] から希望の日時を指定する。同じ画面に出ている [Aeries Communications] では、Signal Kit というメーリングリストを通して学校や District が配信するお知らせを「受け取らない」「すべて受け取る」「緊急事項のみ」から選ぶことができる。

Aide (えいど) : ELD 生をサポートする補助の先生。RIS では日英バイリンガルの松永先生と中日英トライリンガルの Zhou 先生が ELD のクラスに入ってくれている。ちなみに RIS の ELD 1 & 2 の生徒が配置されるクラスの教科担当はすべて TESOL (てそる／英語を母国語としない人向けの英語教授法) を習得されている。アメリカの学校ではスタッフの役割が明確に線引きされていて、そのテリトリーを超えることはタブーとされているため、「Aide はあくまでも”子供のフォロー”のために雇われている。子供が Aide に相談するのは大歓迎だが、保護者が相談する相手ではない」と学校側から再三にわたって注意を受けている点にくれぐれもご留意いただきたい。学業に関する相談はまず教科担任へ直接メールをし、それでも解決が難しければカウンセラー (Aeries に担当アカデミックカウンセラーの名前が載っている／他にも学業以外の相談ができる Safe School Counselor がいる)、校長先生、District の順番でメールで相談するのが望ましい。

Attendance (あてんだんす) : 授業に臨む姿勢のこと。RIS ではこの Attendance を重視している。始業ベルが鳴った時点ですでに着席し授業を受けられる状態にしていなければならない。違反 2 回目までは口頭での注意、3 回目からは親に通達がいき、居残り・清掃・detention (でいてんしょん／オフィスでの拘留) 等のペナルティーが課される。授業中のトイレ退室は基本 NG なので、自分のロッカーと各教室との位置関係などを頭に入れながら 1 日の中での移動時間をどう有効に使うか前もって考えておく必要がある。他に、RIS オリジナルプランナー (スケジュール帳) に日々の宿題をきちんと書き留める、課題の提出期限を守る、といった自己マネジメント能力も

学年が上がるほど厳しく評価される。分からないことを聞ける class buddy を各教科に作っておくことが大事。また、学期中にやむを得ない事情で長期間（継続して5日以上）学校を欠席する場合は事前に必ず office へ届け出て independent study（いんでいべんでんとすたでい／自宅学習）の用紙をもらい、各教科の担任に課題を書き込んでもらって親のサインとともに office に戻すこと。この用紙は校長がサインした後に戻ってくるので大事にとっておく。病欠であった場合は休み明けに1週間ほどの猶予があるが、そうでない場合は再登校当日に課題を提出して、件の用紙に各教科担任から確認のサインをもらい、再び office に提出する。欠席が継続4日以下の場合は independent study 扱いにはならないので、欠席中の課題については各教科担任と直接話し合う。その他学校生活におけるルールの詳細は <https://ris.pvpusd.net> [STUDENTS] → [Student Handbook] を参照のこと。

Block Schedule（ぶろっくすけじゅーる）：主に CAASPP（以下参照）のテスト期間中、授業スケジュールが2時間単位になる。第1日目は1限目から3限目までを2時間ずつ、第2日目は4限目から6限目までを2時間ずつ、これを交互に繰り返すことを指す。ちなみに Palos Verdes High School は通常からこの block schedule を採用している。

CAASPP（きゃすぷ）：毎年4月から5月にかけて行われるカリフォルニア州統一学力テスト。詳細は <http://www.caaspp.org> を参照。3年生から12年生までのすべての学生を対象に Math・Language Arts・学年によって Science（2018年は5,8,11,12年生）のテストをコンピュータ上で実施する。在米期間1年未満の生徒は Language Arts のみ免除。ELD レベル判定材料の一つでもあり、結果は Aeries で見ることができる。テスト期間中は月曜のみ通常スケジュール、火～金曜は block schedule となる。

DELAC（でいーらっく）：学区内の小中高各学校の ELAC 代表や ELD 教師が集まって情報共有や意見交換などを行う、District 主催の会議。誰でも参加できる。ゲストスピーカーの講演あり、親のためのワークショップあり、District のスタッフ・他校の保護者や ELD 教師との交流があったりと、親の世界が広がるよい機会。詳細は <https://www.pvpusd.net> → [Parents & Students] → [Curriculum] → [English Language Development] を参照。

ELPAC（えるぱっく）：従来の CELDT（せるど）に代わって2018年からカリフォルニア州が採用した、州外から転入してきた英語を母国語としない生徒の英語力を評価するための新テスト。詳細は <https://www.elpac.org> を参照。初めて受ける子供のみ随時、それ以外の総括的な評価テストは毎年2月から5月にかけて行われる。Reading、Writing、Listening、Speaking の4技能バランスをみる構成になっており、reclassified*（りくらしふあいど／ELD 生としての補助は必要ないという認定）されるまではテストを受け続けなければならない。ちなみに

に RIS の ELD 基準はレベル 1 から 5 まであり、1&2 は ELD 生向けのクラススケジュール、3 からは elective (えれくていぶ／選択授業) が選べるようになるなど徐々に通常クラスへと移行したのち、1～2 年の観察期間 (ELD4&5 においては明確な区別なし) を経て reclassified されると District から認定書が送付されてくる。

* Reclassification に関しては PVPUSD が定める明確な基準あり。別ファイルの資料を参照のこと。

Edlio (えどりお) **Edmodo** (えどもど) : 先生方はそれぞれ独自の Website に連絡事項や宿題、授業のための参考リンクをアップデートしている。Edlio や Edmodo は先生が使用しているサイトの名前。他に Planbook を使っている先生もいる。<https://ris.pvpusd.net> [HOME] → [Staff Directory] から先生の名前をクリックすると現れるページは Edlio。

Needs Assessment (にーずあせすめんと) : ELD や低所得家庭など特別な支援を必要とする生徒のために州から割り当てられる予算の一部は、該当する生徒数に応じて District から各学校へと配分される。その予算を有効に活用するべく、District や学校は ELD 生徒や保護者対象のアンケート調査を年に数回行っている。これが Needs Assessment である。子どもの Office365 アカウントを使ってインターネットから回答するものであったり、郵便で届いたアンケート用紙に回答して学校に提出するものであったりと、形態は定まっていないが、ELD 予算を毎年きちんと必要な物や人材に対して使ってもらえるように親が関心を持ち、運営側にアプローチすることが次に繋がっていくので、皆さんにぜひご協力頂きたい。ちなみにこの予算は ELD 生徒の学力向上という用途に限られ、RIS では現在 Aide の雇用・ELD 生徒向けの Homework Club 開設・Chromebook の購入などに充てられている。

Office365 (おふいすすりーしゅくすふあいぶ) : 学習における共同作業や作成物の共有を可能にする教育機関向けサービス。PVPUSD に在籍している間は専用のメールアドレス「自分の学生番号@pvpusd.net」とパスワードで利用できる (パスワードは学校指定のもの。RIS の 505 教室に行って IT 担当の先生に教えてもらう)。学校の Chromebook を利用したり、インターネットで課題や宿題を提出したり、先生から授業の資料を受け取ったり、前出の Needs Assessment に回答したりするときに使う。

Student Daily Bulletin (すちゅーでんとでいりーぶるていん) : RIS Website にて毎日更新されるオンライン掲示板。学校からの連絡事項・PTSA や Booster Club (ぶーすたーくらぶ／PTSA 提携の課外活動) からのお知らせ・キャンパスで開かれるさまざまな催しなどの情報が日々アップデートされる。RIS Website のトップページを下にスクロールしていくと Daily Bulletin の見出しがあり、そこに Student Daily Bulletin のリンクが貼っているので、毎日のチェックを習慣にしたい。

Syllabus (しらばす) : 講義要項。授業を受けるにあたって、先生方が生徒たちにきちんと理解して欲しいルールをまとめた文書。配布されたシラバスは親もしっかり目を通し、サインをして先生に返却することを忘れずに（先生によってはポイント付与の対象になったりする）。

SRI (えすあーるあい) **RI** (あーるあい) : [Scholastic] Reading Inventory ([すからすていっく]リーでいんぐいんべんとリー) の略。生徒の単語力や読解力をコンピュータによって判定するテスト。ここから各生徒の”読解力”および”文章の難易度”を示す Lexile (れくさいる) 指数が導き出され、その能力に見合う本に頻繁に触れることが英語の読解力向上の一助になるとされている。RIS では年2回（秋と春）このテストを行っている。ELD レベル判定材料の一つでもあり、結果は Aeries で見ることができる。

注)ここに掲載されている情報は2018年6月時点のものであり、正確性および完全性を保証するものではありません。日本人会はここに掲載されている情報を予告なしに変更もしくは削除することがあります。いかなる情報についても必ずしも常に最新情報が反映されるものではありません。これらによって生じるいかなる不都合に関し日本人会は一切責任を負うものではありません。